



## 老子会のモットー

「老子の道の精神を生かし、自分を変え、世界を変え、未来を変えていく」をモットーに、世界平和・人類の幸福を推進していく。

老子



### 第47回老子会から

「受け身」から生まれるパワー

日本語には多くの「受け身」表現が見られます。日本人は何事も、受け身姿勢が好きなようです。「受け身」表現は日本人の美意識だと認識しても過言ではないと思います。

例えば、日本人が結婚式で司会者がこういう「司会をさせていただきます私は新郎の友人で〇〇と申し上げます。」

日本人以外の外国人なら「私が司会をします〇〇です」という表現をします。

また、「泥棒に入られました」、「家内に逃げられました」、この二つのフレーズに見られる受け身表現は代表的な日本語の表現の一つだと考えられます。

泥棒でさえ、受け身の言葉で表現すると、自分が油断したために泥棒が家に侵入したというニュアンスが生まれます。他者を一方的に非難しない、追いつめない表現方法が受け身の表現です。

妻にもいろいろ言い分があるだろうという自分にも落ち度が有るというニュアンスがこの表現には含まれているのではないのでしょうか。「受け身」表現には謙遜な気持ちが込められています。すばらしい生き方のエレガントな表現です。

実は、受け身は次の展開では攻めになるパワーにつながるのです。「受け身」から無限なパワーが生まれます。

例えば、柔道は半年間、受け身ばかりさせられます。受け身こそ命を、自分を守る技術なのです。生き延びれば勝てるチャンスをつかむことができます。身を守ることにこそ日本の武術の極意があります。

この「受け身」の表現こそ老子的な考え方から来たのです。受け身が最大の攻撃の力になります。矛盾しているようであるが確かです。

「柔弱勝剛強(柔弱(じゅうじゃく)は剛強(ごうきょう)に勝つ)は『老子』第36章に出ています。「柔よく剛を制す」は「受け身」の根源です。戦わないことが勝利する最短の「道」とであると老子が教えてくれました。

老子は「有」と「無」を超えた存在を「道」と言います。言わば、サムシング・グレートな存在を「道」と名付けたのです。

「サムシング・グレート」とは「神」や「仏」や「天」などと呼ばれる人間の世界を超越した「偉大な存在」です。

「老子」の逆説真理を見てみましょう。柔道界では、「小さい人でも技を使えば、大きな人を投げ飛ばすことができる」と教えています。

老子には、水は見るからに弱々しい。しかし、勢い良く流れる水は岩をも打ち砕きます。柔軟なものは、その柔軟さ故に相手に応じて対応し、剛直なものに勝てます。柔は剛に勝ち(柔よく剛を制す)、弱は強に勝ちます。

筑波大学名誉教授の村上和雄先生は遺伝子研究の第一人者です。ヒトの遺伝子暗号は、約32億の科学の文字で書かれています。そんな遺伝子暗号を書いたのは誰か。その正体を、アインシュタインは「宇宙の真理」といい、マザー・テレサは「サムシング・ビューティフル(美しい何ものか)」と呼んでいます。それを村上先生は「偉大なる何ものか」という意味で、「サムシング・グレート」と名づけたわけです。サムシング・グレートな存在を「道」というのです。

「道」を求める日本人の国民性、日本語には「道」が付く単語が多い。

例えば、武道系には、剣道・弓道・柔道・相撲道・空手道・合気道・杖道・居合道・長刀(なぎなた)道・銃剣道・殺陣(たて)道・跆拳道(たいけんどう・テコンドー)があります。

文化系には、茶道・書道(中国語では書法)・華道・香道があります。「術」、「法」ではなく、「道」と表現するのは、高い精神性をもって、人としての「道」を追究するという意義深いものが含蓄されていると考えられます。老子の「道」に通じて、人間性が高められます。

「受け身」の表現は力になります。



## 老子会2017年総括

学習会(合計12回実施)

- 1月28日(土)第37回 第56・57章
- 2月25日(土)第38回 第58章
- 3月25日(土)第39回 第59章
- 4月22日(土)第40回 第60章
- 5月20日(土)第41回 第61章
- 6月02日(金)第~3日(土)課外学習---新潟野外学習
- 7月15日(土)第42回 第62章
- 8月19日(土)第43回 第63章
- 9月16日(土)第44回 第64章
- 10月14日(土)第45回 特別講義
- 11月18日(土)第46回 第65章
- 12月17日(日)第47回 年間総括・特別学習会

「老子会」発足

老子会は2017年9月に4周年を迎えた。

4周年をきっかけに、会員制の「老子会」を発足した。

年会費2000円

現在会員数 45 名

『老子会会報』は2017年10月を発刊し、2017年度3号発刊しました。

役員紹介

理事長 胡 金定

副理事長 石井 政

副理事長 部田哲雄

理事(理事長補佐) 藤田 憲一

理事(事務局長補佐) 余保 充徳

理事(会計担当) 塚本 保子

老子会2018計画

月一回の学習会を実施する。

2018年3月第50回目の時、高知県の坂本竜馬を訪ねる。

2018年7月か8月に「老子会」総会を開催する予定である。

『老子会会報』を充実していく。

写真で綴る2017年度「老子会」忘年会



## 第42回 甲南大



塚本保子さんは、富山県生まれ（美容専門学校を卒業）美容師にはならずアルバイトをしながら、将来自分で商売をすることを目標に、女性に関する色々な資格を取得する。

アルバイトを辞めた後は、6年間OLとして勤務。メイクアップアーティストの勉強をした時、某エステティックサロンのチラシを見て、ひらめいたのが自らエステティックサロンを経営すること。

OLを辞めて1年間、再びアルバイトしながらエステティック学院に通い、経営に必要な資格を取得。同時に1名のスタッフと共にサロンをオープンさせる。

塚本さんの考えは「大きいことをする時は誰にも言わない」みな失敗を恐れ「反対するだけで良くなった時を考えないから」だと言う。その

ため開業は、身内・友人にもギリギリまで伝えなかった。エステサロン勤めの経験はなかったが、後にスタッフも4名になる。

やがて先取りのメニューが次々と大ヒットし繁盛店になる。後に母の介護と自身の病気が重なり、全盛期の時(H25年)にサロンを手放す。

＜老子会の皆さんへ＞

現在は「整理・収納」「いつまでもキレイにいる為に」「介護されない体づくり」をアドバイスしています。老子会はいつも楽しく、老子のお勉強は第1回目から参加しています。

老子は頭で分かっている、言葉で言い表せません。考えている間は老子の生き方はできないと思うので、健全でありたいと思うようにしています。老子会の年1回の旅行が楽しみです。

今年は四国の坂本龍馬。参加されたことがない方、勉強会・交流会では見られない新しい楽しさを見つけたいでしょうか。みんなで楽しみましょう！

### 12月度老子会のご報告

明けましておめでとうございます。輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

老子会が5年目を迎えることができましたのは、ひとえに会員皆様のご協力とご支援の賜でございます。毎回の胡金定先生の含蓄溢れる講義は、私たちの人生・生活にきっと新たな希望と展開をもたらしていることと存じます。12月の老子会は35名のご出席を頂き、忘年会を兼ねて盛大に開催することができました。胡金定先生の「受け身から生まれるパワー」のお話は、私どもに大変興味深いお話だったと思います。「受け身」は謙遜の気持ちが込められた、素晴らしい生き方のエレガントな表現。実は「受け身」は次の展開では、攻めになるパワーに繋がり、無限のエネルギーが生まれると述べられました。「受け身」という姿勢は、ともすれば消極的にとらえがちですが、新たな視点で物事を考えることをご教示頂きました。本年も皆様のご期待にお応えできる様、精一杯努力して参ります。どうぞよろしく申し上げます。皆様のご健勝とともに、本年が栄光の年になりますよう、心よりお祈りいたします。

### 2月度老子会のご案内

第49回老子会は2018年2月10日(土)15時～甲南大学6-33教室で実施。◇ 交流会18時30分～

### 3月度老子会のご案内

第50回老子会は学外一泊研修「坂本龍馬 生誕の地を訪ねて」

日 時：3月9日(金)～10日(土) 一泊二日の行程

費 用：約27,000円(概算) 往復交通費・宿泊費・交流費・現地移動費・入館料等々



# 老子会

〒658-8502

神戸市東灘区岡本8-9-1

甲南大学 国際言語文化センター 胡金定研究

電話: 078(435)2353

FAX: 078(435)2545

E-mail kokintei@center.konan-u.ac.jp